

子ども虐待の現場から

～子どもの SOS 聞こえますか～

子どもへの虐待は、子どもの人権を侵害するものであり「こころ」と「からだ」に深く、大きな傷を残すことから、予防に加えて、早い時期の発見と対応が重要です。子どもを傷つけ、尊い命までも奪う悲劇をこれ以上繰り返さないために、地域に暮らす私たちにできることは？おとな一人ひとりが、身近な子どものSOSをキャッチし、行動に移すことができるように、第一線で子ども虐待に向き合う與古田氏の報告から、それぞれが自分の役割を考え、この問題について理解を深めることを目的に開催します。

日 程： 11月4日(水) 19:00~21:00 (開場 18:30)

会 場： 宮古合同庁舎 講堂 (宮古島市平良西里 1125)

講 師： 與古田 貴之 (沖縄県中央児童相談所 相談班主幹 (離島支援担当) 兼宮古分室主幹)

講師略歴

具志川市(現うるま市)出身。琉球大学卒法文学部社会学科卒。1996年(H8)沖縄県庁入庁(社会福祉職)。児童自立支援施設、児童相談所の児童福祉分野や障害福祉分野を主に担当する。現在の職場である中央児童相談所は、2016年(H28年)に離島支援担当主幹として着任(2度目)。児童虐待防止グループ主幹を経て、2018年(H30年)から再び離島支援担当兼宮古分室主幹として、本所と宮古分室、管内離島町村を往来しながら子どもや保護者の支援にあたっている。

要事前予約 *裏面参照

対 象： 関心のある方

定 員： 75人

*新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドラインに沿って、開催方法はZOOM等を活用したオンライン開催に変更する場合があります。

ご参加のみなさまへお願い

体調のすぐれない方はご来場をお控えください。マスク着用、検温、アルコール消毒等、ご協力をお願いいたします。



主催 沖縄県 共催 宮古島市、特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

後援 沖縄県教育委員会、沖縄県社会福祉協議会 宮古島市教育委員会、宮古島市社会福祉協議会

